

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	県央地域農業改良普及センター		
56				
※記入不要				
要望問題 家畜ふん炭化物の肥料特性について				
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】				
<p>畜産農家から排出される家畜ふんの処理は、主に堆肥化や乾燥処理の後、畑へ施用されているが、近年、堆肥化よりも、減量化が図られる手法として家畜ふんを原料とした炭化処理が考えられている。</p> <p>処理後の炭化物は、融雪剤や土壌改良材といった利用方法が言われているが、畑地での適正な肥培管理のため、家畜ふん炭化物の肥料としての特性を調査してほしい。</p>				
解決希望年限	①1年以内	②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内
研究対応区分	①研究所対応	②委託研究	③共同研究	④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター			
※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。				
回答機関名	農業総合研究所			
部 署：	農業環境部			
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可			
試験研究課題名	（①、②、④の場合）			
対応の内容等	<p>家畜ふん炭化物の肥料としての特性については、全国的には、研究事例が見られますので、これらの情報収集に努め、提供致します。</p> <p>また、県内で製造事例等があれば、成分調査等で協力致します。</p>			
解決予定年限	②2～3年以内			
備考				